



PVI2017
外観検査ワークショップ
 — 目視検査の異次元展開と自動化 —
<http://www.tc-iaip.org/PVI2017>

参加募集・プログラム

開催日：2017年12月6日(水)

会場：パシフィコ横浜アネックスホール F201
 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

今、目視検査への取り組み方が大きく変わろうとしています。目視検査の達人が、剣道の達人とともにNHK総合テレビ「ガッテン！」(大型連休の前に！交通事故から家族を守りたいSP：2017年4月26日放送)に初登場しました。意識せずに対象を見る技術を会得すれば、剣道では対戦相手の頭からつま先の範囲の変化を、目視検査では検査ワーク表面のわずかな変化を瞬時に感じ取ることが出来ます。キーワードは周辺視。この技術はだれもが身に付けることができるものであり、目視検査では、検査時間の大幅な削減、不良品の見逃しの激減、そして、検査員の疲労の低減につながります。しかしながら、この技術の導入には、目視検査内容・動作・作業環境の見直しが必要であり、自動検査との連携をも含む生産に関わる技術者、管理者の理解と支援が欠かせません。

PVI(Peripheral Visual Inspection) 2017 外観検査ワークショップでは人による外観検査において、不良の見逃しを無くし、検査員の慢性疲労を生じさせない究極の検査方法について議論を行います。目視検査工程の改善のための第一歩から、検査員の訓練とその習熟度評価、そして、高速且つ低疲労の目視検査を実現するための検査動作の脳科学的理解まで、今までの常識をはるかに超える世界にご案内します。

TOPICS

- ◎基調講演：周辺視目視検査法
 講師：佐々木章雄氏(周辺視目視検査研究所 代表)
- ◎特別講演：周辺視目視検査法の脳科学的理解
 講師：中村俊(東京農工大学名誉教授)
- ◎新たな目視検査法展開のための支援技術
 目視検査現場の現状分析
 検査員の健康評価方法
 目視検査オンライン教育訓練
- ◎目視検査支援機器デモ展示

参加申込

参加費：一般 20,000円 周辺視目視検査法セミナー参加者
 / 感察工学研究会委員 / 画像応用技術専門委員会
 / ViEW2017登録者 / 教育機関 10,000円
 申込：PVI2017 ホームページからの参加登録をお願いいたします。1名ごとにお申込みください。
 締切：2017年11月8日
 問合せ：感察工学研究会・石井明 ishii@eng.kagawa-u.ac.jp
 〒761-0396 香川県高松市林町2217-20 香川大学工学部
 知能機械システム工学科内 TEL：087-864-2321(直通)

参加者 「PVI2017 外観検査ワークショップ」では、周辺視目視検査法について基礎的な知識を有する方々を優先します。

- (1)過去に周辺視目視検査法のセミナーもしくはこれに準じる講演会への参加者
- (2)画像用技術専門委員会委員・ViEW2017登録者・アゲミック機関
- (3)一般

なお、ワークショップでは訓練体験等を行う関係で参加者数は最大100名(関係者含む)に制限させていただきます。

参加者の同意事項 周辺視目視検査法導入の実施例の紹介では、当該企業もしくは顧客の製品の写真、ビデオ等がスクリーンに映し出されることがあります。そこで、参加者には次の2項目に同意の上での参加となります。

- 1)聴講者による撮影・音声記録等は禁止します。
- 2)参加者一覧名簿(所属企業・機関名、部署、役職、氏名)を作成し、参加者全員に配布します。

主催：公益財団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会

企画：感察工学研究会

共催：アドコム・メディア株式会社

実行委員会 石井明(香川大学/幹事長)

幹事：青木公也(中央大学) 青木義満(慶應義塾大学) 東川昌信(デンソー北海道) 石井明(立命館大学) 今堀勇三(イマック) 梶野肇(ちゅうごく産業創造センター) 金田篤幸(ガゾウ) 喜多野乃子(アドコム・メディア) 佐々木章雄(周辺視目視検査研究所) 中野宏毅(日本IBM) 中村俊(東京農工大学名誉教授) 中島慶人(電力中央研究所) 広瀬修(住友化学) 森由美(横浜国立大学) 吉浦豪(オムロン) 劉偉(ファースト)

委員：荒川雅裕(名古屋工業大学) 有友秀樹(HGST) 板垣忠司(CCS) 伊藤桃代(徳島大学) 岩崎謙次(東京都立産業技術研究センター) 岩崎准一(北海道電力(株)総合研究所) 小川尚志(エンボス) 叶賀卓(産業技術総合研究所) 神澤啓彰(ダイハツ工業) 葛岡英一(大倉工業) 小柴満美子(山口大学) 酒井薫(日立製作所) 柴垣太郎(池上通信機) 清水創太(早稲田大学) 澤田秀之(早稲田大学) 高見孝一(ゴムノイナキ) 滝聖子(千葉工業大学) 田代安彦(三菱マテリアル) 谷崎隆士(近畿大学) 外崎真理子(アイフォーコム東京) 飛田奈穂美(ファースト) 中嶋良介(成蹊大学) 中山泰(ダイハツ工業) 新堀克美(i-SA&C) 西村邦広(コララボ) 野村和史(日本生工技研) 橋本学(中央大学) 濱崎祐太郎(トビー・テクノロジー) 肥田拓哉(青山学院大学) 本郷満(中国地方総合研究センター) 松原琢磨(中央大学) 松本俊之(青山学院大学) 丸地三郎(日本古代史研究家) 蒔田哲郎(三菱電機) 皆川健多郎(大阪工業大学) 山田規夫(デンソー北海道) 山中正雄(トヨタIT開発センター) 依田真由子(群馬バース大学) 若井宏平(クリイノ創研)

顧問：梅田和昇(中央大学) 山本和彦(岐阜大学名誉教授)

12月6日(水) 9:30-16:30

受付：08:30-

開会：09:25

石井 明(香川大学/感察工学研究会主査)

基調講演：09:30-10:30

司会 石井明(香川大学)

周辺視目視検査法

佐々木章雄(周辺視目視検査研究所 代表)

WS1：10:40-12:30

司会 梶野肇(ちゅうごく産業創造センター)

新たな目視検査法展開のための支援技術

(1)目視検査現場の現状分析

佐々木章雄(周辺視目視検査研究所)

(2)検査員の健康評価方法

森由美(横浜国大)・今堀勇三(イマック)

(3)目視検査教育訓練

石井明(香川大)・金田篤幸(ガゾウ)

<昼食>

目視検査支援機器デモ展示(会場内設置)

①目視検査教育訓練システム(ガゾウ)

②バランスエイド計測解析システム(イマック)

③ウェアラブルトラッキングシステム(トビー・テクノロジー)

WS2：13:30-14:30

司会 広瀬修(住友化学)

周辺視目視検査法導入のポイント

(1)目視検査と自動検査の使い分け

(2)株デンソー北海道

(3)日立金属(株)安来工場

(4)G社・M社

特別講演：14:40-15:40

司会 石井明(立命館大学)

周辺視目視検査法の脳科学的理解

中村俊(東京農工大学名誉教授)

総括討論：15:50-16:20

司会 石井明(香川大学)

閉会：16:25

梅田和昇(画像応用技術専門委員会委員長・中央大学)

交流会：16:30-17:30

参加者のご当地土産で交流しましょう!